

YIC 調理製菓専門学校長 須内章雅
Sunouchi Akimasa

○ ひん

今回は私自身のことは棚に上げといて記述したいと思います。

「品」です。本校も北九州校も清潔で衛生的な身なりで過ごすことを奨励しています。例えば「染髪をしない」「装飾品類をつけない」などです。異物混入を防ぐなどの具体的な理由もありますが、抽象的な理由としての「品」にかかわることではないかと私は思っています。このことばをいままで特に使ってはきませんでした。このたよりで今の私の思いを少し記述してみようと思います。

「品」とあらためて考えてみるとまさに抽象的なことばですね。「上品」「下品」ということばもあります。この二つは具体的にそのような人物が想像できます。私は学校現場で勤務していますから、かかわった児童・生徒・学生には、「上品でなくてもいい、品のある人に成長してほしい。下品な人にはならないでほしい。」と心の中で願っています。

勝手に想像すると、「裕福で教養のある人には品がある。」となりそうです。賢くて能力のある人なのに下品な人もいます。「教養」ということば自体に品が含まれているような感じがしませんか。逆に裕福でなく学歴がなくても品のよい人がいます。容姿が整っていても下品な人がいます。“それなり”の容姿の人でもすごく美しい品を感じる人もいます。難しいとかおもしろいとか…。このように書きましたが、私がこれまでに会ってかかわってきた人の中に下品な人はほとんどいませんでした。

他の方向の話です。今朝起きて鏡を見ると寝癖で髪が立っていました。仕方ないので髪をおさえるために妻の許しを得て帽子 (cap) をかぶって朝食をとりましたが、どうも落ち着かないというか“ぐつが悪い”感覚でした。世間では通常ようですが、食レポの番組などで見かけると眼をそらしたくなります。野球の国際試合などで国歌が流れているときは帽子を胸に当てていますよね。食事時の着帽は料理に対して敬意を表していないような気が、私はします。試食時のコック帽は別です。

○ 自校自賛

植物 : 蓼 (タデ)

「タデ食う虫も好き好き」の蓼です。鮎料理の時に使った残りをそのまま捨てるのはもったいないので玄関前に紹介してみました。そういえばかつてイヌタデを持って来たことがあったなと思い出したのでそのときのものも一緒に紹介します。イヌタデは農家にとっては雑草ですが、近づいてよく見るとかわいい花です。



学校の“畑”で育っている色々な木々の中に、枝葉が柚子のような低木があります。下草を抜いていると、ときどきどきとげにやられて痛い目に遭いますが、昨年、一昨年と何も実が出来ませんでした。今年ふとのぞいてみると実がついているではありませんか。花が咲いた記憶がないのにどうしたことだろうと近づいて見ると柚子の実ではありません。表面に短い毛が生えているようにも見えます。直径は15~20mmくらいです。切ってみると写真のような中身です。なんという名の植物なのか未だ不明です。だれか分かる人いますか? これからどれくらい大きくなるか見守ってみようと思っています。

